

「好色五人女」ってどんな話？

年 組 号 氏名

好色五人女の内容

道徳や制度と対決してまで、恋に命をかけた五人の女を、実話をもとに描いた作品。
背景は当時、親の目を盗んでの恋愛は不義密通の名で呼ばれ、犯した者は勘当され、親は自分の娘であっても、お上に訴えて打首・島流しにすべしという法令までできていた。

時代背景

平和で安定した社会
全国規模での商業発達・経済発展

町人階級が生み出す文芸

歌舞伎・人形浄瑠璃の公演が人気

個人の自由な感情

「葛藤」……近世文学の大きなテーマ

社会的道徳

時代文化	江戸時代 元禄文化
誰が書いた？	
ジャンルは？	



彼の小説および、その流れを汲むもの、また京都の書店八文字屋から出版された小説のこと。
同時代の浮世を生きる人々の風俗や人情を描写。
「浮世」…現実社会・色の世界（好色・スケベ） 「草子」…小説

「八百屋お七」

八百屋八兵衛一家は大火にあい菩提寺に避難する。八兵衛の娘お七は、その寺で寺小姓の若者・吉三郎と出会うが、寺を離れ家に帰ると吉三郎と会うことができない。
想いが募るお七は、火事がおれば再び吉三郎と会えると考え、放火の罪を犯す。この結果、お七は火あぶりの刑に処せられる。後に残された吉三郎はそのことを知り自殺しようとするが、周囲の説得に思いとどまり出家する。

好色五人女 内容

道徳や制度と対決してまで、恋に命をかけた五人の女を、実話をもとに描いた作品。
 背景 当時、親の目を盗んでの恋愛は不義密通の名で呼ばれ、犯した者は勘当され、親は自分の娘であっても、お上に訴えて打首・島流しにすべしという法令までできていた。

時代背景

平和で安定した社会
 全国規模での商業発達・経済発展

町人階級が生み出す文芸

歌舞伎・人形浄瑠璃の公演が人気

人情

個人の自由な感情

「葛藤」……近世文学の大きなテーマ

義理

社会的道徳

時代文化	江戸時代 元禄文化
誰が書いた？	井原西鶴
ジャンルは？	浮世草子



彼の小説および、その流れを汲むもの、また京都の書店八文字屋から出版された小説のこと。
 同時代の浮世を生きる人々の風俗や人情を描写。
 語の意味「浮世」：現実社会・色の世界（好色・スケベ） 「草子」：小説

「八百屋お七」

八百屋八兵衛一家は大火にあい菩提寺に避難する。八兵衛の娘お七は、その寺で寺小姓の若者・吉三郎と出会うが、寺を離れ家に帰ると吉三郎と会うことができない。
 想いが募るお七は、火事がおれば再び吉三郎と会えると考え、放火の罪を犯す。この結果、お七は火あぶりの刑に処せられる。後に残された吉三郎はそのことを知り自殺しようとするが、周囲の説得に思いとどまり出家する。